

第2回地域包括応援セミナーアンケート集計結果

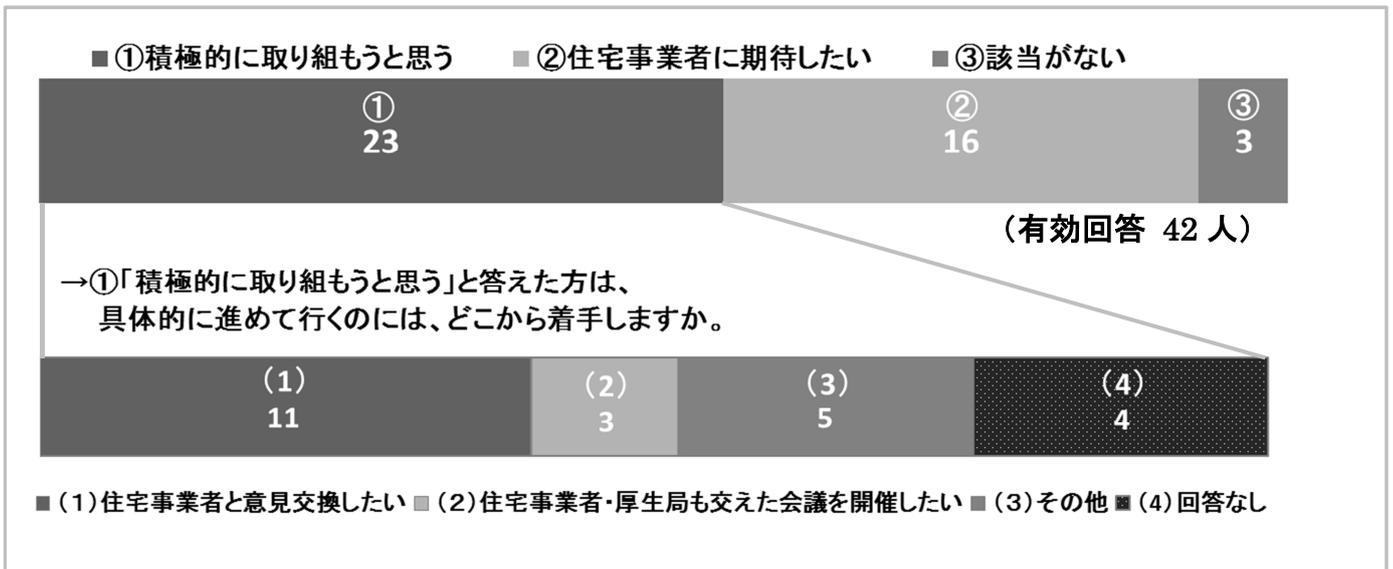
平成28年9月15日開催

1. アンケート回答数内訳

①自治体 (都県・市区町村)	②大学	③医療機関	④団体	⑤介護事業所	⑥製薬会社	⑦民間企業	⑧その他	⑩回答なし	計
27	14	9	33	32	0	6	30	1	152

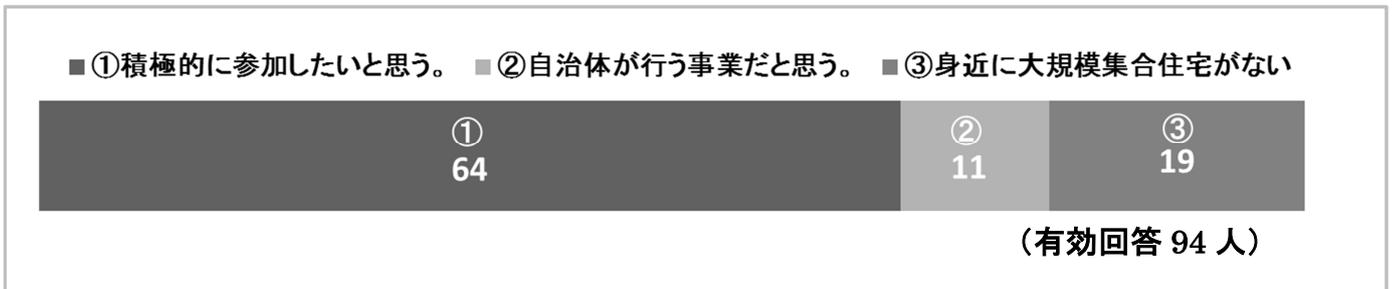
2. 【自治体の方】

セミナーに参加して大規模集合住宅の地域包括ケアに取組（または一層推進）をする必要があると思われましたか。



3. 【自治体以外の方】

セミナーに参加して大規模集合住宅の地域包括ケアに協力したいと思われましたか。



4. 今度どのようなセミナーがあれば参加したいですか。



【自治体向けのアンケート】

3.セミナーに参加して大規模集合住宅の地域包括ケアに取組(または一層推進)をする必要があると思いましたが。

→「①積極的に取組もうと思う」と答えた方は、具体的に進めていくのには、どこから着手しますか。

→「その他」欄にご記入された方のご意見

リハビリ専門職 地域に貢献できるノウハウをもって、行政的にも増やせるかと考えている。要するに活動の場を作るべきである。

URには地域ケア会議にも参加をしていただき地域の現状を理解し、改善点などを見出してほしい。

私は地域包括のスタッフで担当地区には大きな団地があります。住民事業者との連携が必要であると感じてはいますが、どうすればいいのかわかりません。悩みどころです。(個人情報取り扱い)とあえて意見交換からかな・・・と感じています

見守りネットワーク連絡会に住宅供給会社の方に参加していただける地域もすでにある。地域課題の共有、知恵の共有など現場での活動をより進めていきたい。

住宅内の場をどう活用するか、事業者の方との提案や意見交換はとても大切だと思う。

自治体したいとは思いますが。私はケアマネなので、実際のケアでの立場としては今回の取組は良くわかりましたが、わが町は何も出来ていないのが現状です。どのように取り入れていくのが、ベターかなと思いました。なかなか高齢者まで届かないと思いました。

担当が八潮団地、井草団地です。高齢化率38%、41%何とかしないとと思っています。包括支援センターだけで出来ない行政も含め、URとも協力して行きたい。

UR、公社の方々の事業に、機会があれば協力していきたい。

都道府県・区市町村の各住宅部局と福祉部局の連携にも日々努めていきたい。

【自治体以外の方向けのアンケート】

4.セミナーに参加して大規模集合住宅の地域包括ケアに参加(協力)したいと思いましたが。

→「①積極的に参加したいと思う」と答えた方は、どのようなことで参加したいと思えますか。

自分が担当する地域にも古い団地があり、高齢化の進行も顕著なため。

関係者の間を取りもつ役割(地域ケア会議など)。

既存大規模集合住宅への地域包括ケアの仕組み作りが必要だと感じました。

まだやったことのない試みであり、協力していきたいと思う。

今ある都営住宅に対しての関わりについても考えてもらいたい。

高齢者の健康づくり、生きがいづくりを具体的に進めるソフトの提案に係わりたい。

神奈川の取組を真の地域包括ケアだと思う。他は一方通行でしか見えなかった。

リハビリ関連。

交流の場を一緒に作っていったり、健康教室などの運営も一緒にできたらと思う。

看護医療の面で実行部隊として参加したい。

地域包括支援センターと係われるような点があれば。

現在、運営している事業があるのでより一層包括ケアを推進していきたいと思えます。

自身の所属としては、ハードの整備を検討することで参加したいと思う。

自治体と共に取組んでいかなければならない立場です。構築にあたって自治体に必要な地域特有のニーズの収集に尽力しなければならないと思えます。

【自治体以外の方向けのアンケート】

4.セミナーに参加して大規模集合住宅の地域包括ケアに参加(協力)したいと思いましたが。
→「①積極的に参加したいと思う」と答えた方は、どのようなことで参加したいと思いますか。

地域住民のニーズはなく、自治体・事業者との連携。

地域包括ケアシステム構築には住まいの環境整備は不可欠。少しでも住民の方への理解を促し互助の取組を増やしていけるよう啓発を行っていく。

既に参加している。

包括支援センターとして包括ケアシステムを作りあげるのは必須の事業であり、本日のセミナーを受け「地域全体ではなく、小さな単位(町会)から初めてもいいのかな?」と思いました。特に若葉台の事例はとても良かった。

地域包括ケアを行っています。地域のUR団地が高齢化しています。交流の場として解放できるよう個々の場所で行って頂けると助かります。住宅改修せずに住めるような住宅を改修してからお貸し頂けると嬉しいです。

自治体と住宅事業者の地域包括支援センターを含む協働が大切。

地域づくり。

若葉台に勤めております。将来的にこういった取組がある場所で暮らせると安心だと思うので、具体的に何をするとはまだ分かりませんが、参加していけたらと思います。

自治体へ要請を積極的にしてほしい。情報が入りにくいため。まだまだたて割りが根強く、連携のむずかしさを感じている。

高齢化が進んでいくので、高齢者が安心して暮らせるような手伝いをしていきたい。

地域のURと協議の場を持ちたいと思います。

高齢者の自立。いくつになっても歩ける人の支援。人と人のぬくもりのある関わりをもたらすコミュニティー、ワークショップ等。

介護施設と地域包括ケアとの関わりに関する内容のもの。シルバー人材の活用、空き屋団地の福祉施設への転用。広大な敷地の再開発。

施設設置だけでなく、地域で支え合うという地域包括ケアの可能性を見極めたい。

介護予防や残存機能維持をメインにし、個別機能訓練加算第2を積極的に特養デイサービスでとること。

大規模集合住宅はありませんが、地域包括ケアに実際に取り組むための部署にいて、担当になっているので、事例からヒントがいただけて良かったと思います。特に神奈川の発表は興味深く聞くことができました。

自身の地域にも集合住宅があり、団地などでは、エレベーターのない住宅もあり、人間関係が希薄だったり、様々な課題があります。地域包括ケアのモデルを集合住宅から他の地域へも拡大できれば良いと思いました。

すべての方が安心して住める住宅団地としたい。団地の高齢化が叫ばれるが、長年居住して下さった公社住宅のお客様に、地域包括ケアを通して利益を還元したい。

私自身が大規模集合住宅に住んでいるので大変興味深く聞く事ができた。自治体の中でできることを参加したい。

みさと団地のセンターモール内にある地域包括支援センターひこなり北です。
みさと団地は3丁目・4丁目を担当の支援センターが2つあります。独居の方も多く高齢化が進んでいて、問題点をあげたら、支援センターだけでは、とてもとても無理なので、自治体・URと連携をとっていきたいと思います。

現在CM(看護師)として団地内で働いています。退職後もちょっとしたボランティアで医療介護の連携のすき間を埋められたらと思います。

社協の使命であるから。

情報共有し、課題をみつけ、一緒に解決していきたい。地域包括ケア会議のお誘いをどのようにして行えばよいか教えていただければありがたいです。

【自治体以外の方向けのアンケート】

4.セミナーに参加して大規模集合住宅の地域包括ケアに参加(協力)したいと思いましたが、
→「①積極的に参加したいと思う」と答えた方は、どのようなことで参加したいと思えますか。

参加したいと思いますが、神奈川県公社さんのようにしていくには継続性がないと無理ですし、地元密着は根気がいることだと思います。私は、建設系の会社に勤めておりますので、企業として多くの団地に関わっていきたくと思っています。

やはり10分でかけつける人々がケアを担わなければなりたないということを実感しました。

多世代交流の人材として学生と団地の住人との交流への参加等。

大規模住宅での完結ではなく地域(自治会等)との交流が積極的に行える仕組みが必要。団地と近隣地域との分断が多く見られてるため。

県営団地において横須賀地区の管理栄養士のグループと共同で住民高齢者の栄養相談、栄養改善のための取組を今年度より実施しています。自治会、住民の方から聞かれる話としては、金がない、店がない、知識や情報も乏しいという中で、栄養が健康に気を使って生活することがいかに現実的に困難かという課題に直面しています。食生活というのは医療や介護以上に「人に踏み入れたくない領域」と言われることもあり、取組の広がりにも課題を感じながら、その中でできる限り住民の暮らしに入り込み、団地のイベントに参加するなどを通して、すこしずつ住民との関係を築きながら取組を進めていきたいと考えているところです。

身近には尾山台・原市団地があります。団地の住民同士が支え合い、一人住まいの高齢者の昼食提供などを実施していましたが、現在は当初の計画どおりにできていません。高齢者が体調に合わせ、いつでも利用したいときに立ち寄れる「コミュニティカフェ」など、意欲ある人々と一緒に参加したい。

急性期医療後の在宅医療及び介護の連携のあり方の構築。
予防医学の体制推進、ADL維持体制の構築。

・担当地域に都営住宅があり、その集会室を活用して都営住宅の住民と近隣住民のために交流や、介護予防プログラムを行いたい。
・都営の集会室が都営住民のためにのみ、利用可能という規約を変更して頂きたいと思えます。東京都JKKのご担当者様、何卒よろしくお願いいたします。どの集会室も地域開放型にして頂きたい。

どのような形で参加できるのかを模索しています。

当会社の小規模団地の連携において、様々な施設の整備、設置を行うことで、参加協力していければと思います。

地域の人々のニーズをどうやって収集したのか。街(団地)のイベントに参加しない(できない)人に対してどのようなアプローチをしているのか。

誰が中心になってすすめていくかによって、方向性がいろいろとあるということが理解できない。

地域包括ケアの必要性は認識できました。

住宅事業者と意見交換する場所が欲しい。地域包括ケアの推進に取組んでいるが、集う場がないのが、常の悩み。様々な取組を今後もすすめていきたい。
住宅事業者と意見交換したい。
空家活用などの取組にも一緒に関わりたい。

ケアマネとして、施設ではなく住みなれた自宅で(集合住宅)で長く生活していただけるよう地域包括ケアに参加、協力し、課題を提案していきたいです。

医療、介護事業者として、地域包括ケアに参加させていただきたい。特に大規模住宅の再生において、どのような役割をはたせるか他事業者の方と意見交換したい。

建替住宅の促進。創出用地の提供。